

# ガラス固化技術開発施設（TVF）における 固化処理状況について

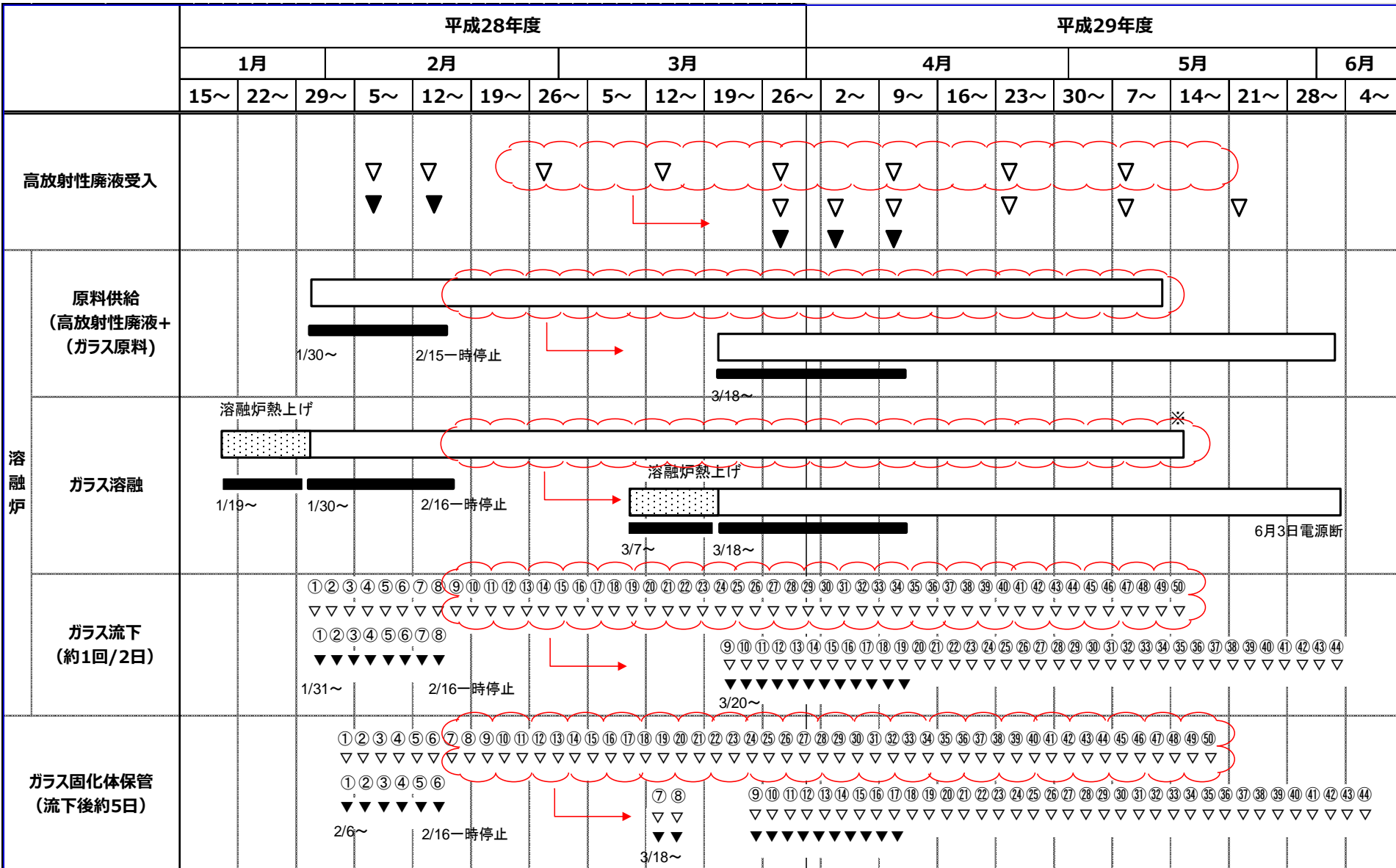
平成29年4月12日

日本原子力研究開発機構（JAEA）



# 1. TVF固化処理スケジュールと実績

## — 17-1CPスケジュールの見直し —



□▽ : 計画    ■▽ : 実績    ☁ : 見直し範囲

※進捗状況に応じて5月下旬まで延長 1



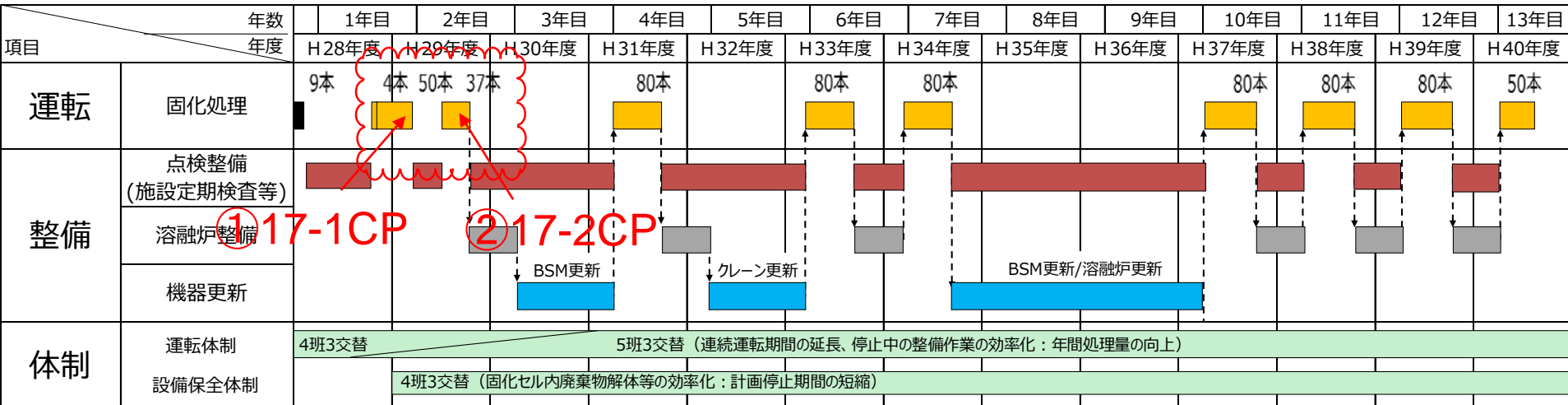
## 2. 固化処理の状況

### － 概要 －

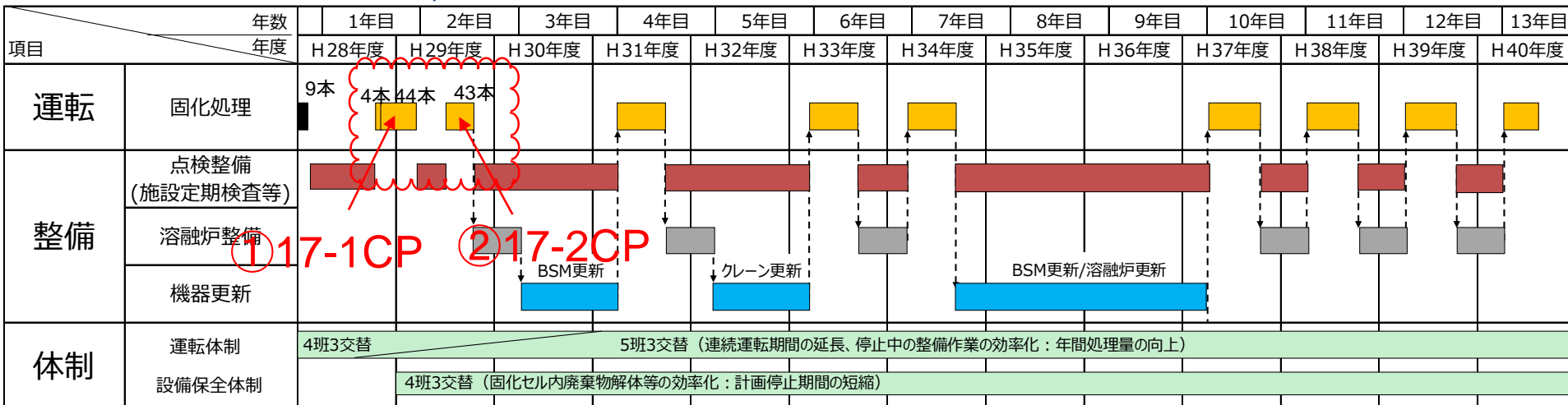
- ・2/14に発生した搬送セルクレーンの不具合において、対応に期間を要すると判断し、2/16に固化処理を一時中断した。
- ・要因分析、点検整備計画作成などの後、2/28～3/4にかけて、クラッチの点検整備を実施し、3/6に作動確認を行い、不具合が解消された事を確認した。
- ・熱上げ再開に向け、今回の固化処理一時中断を踏まえ、主要メーカーのサポート体制を再確認した。
- ・3/7から溶融炉の熱上げを開始した。
- ・3/18から固化処理を再開(ガラス原料及び廃液供給開始)した。
- ・17-1CPは、4/11現在、20本のガラス流下を行い、18本を保管した。



### 3. TVF固化処理スケジュール — 12.5年計画の遂行 —



搬送セルクレーンの点検整備に伴い、17-1CPで約1ヶ月の固化処理一時中断が生じた。この停止期間を踏まえ、①と②の合計固化体製造本数87本の内訳を見直し、①44本、②43本にすることにより、全体計画に遅れを生じないようにする。



17-1CPで発生した不具合事象(搬送セルクレーンの不具合による固化処理一時中断等)を踏まえて、12.5年計画の達成に向けてさらなる体制強化・点検拡充を図る。

### 【体制強化】

- 4班3交替から5班3交替体制への移行に向け対応を継続。
- さらなる体制強化
  - ・メーカーの協力を得て日勤技術力の補強を図る予定。
  - ・日勤の増員により、工程管理体制の強化や継続的な技術伝承、人材育成を図る予定(一部実施済み)。

### 【点検拡充】

- 運転を着実に進めつつ、できるところから早期に着手する。
- 17-1CPで発生した不具合事象を踏まえ、12.5年計画を着実に進めていくため、新たな視点での点検や従来点検内容の幅を広げた点検を実施していく。